

第10回 高校生ものづくりコンテスト山形県大会 電気工事部門

山形県立長井工業高等学校
事務局 菅原 学

1. はじめに

当部門は山形市漆山の高齢・障害・求職者雇用支援機構山形職業訓練支援センターを会場に6月14日（土）、15（日）の2日間に渡って実施されました。

本大会では8校より15名の参加申込がありました。今年度は東北大会、全国大会が本県会場ということもあり、いつも以上に各校力の入った大会となりました。



図1 （開会式の様子）

2. 競技

本大会では、昨年度までと同様に全国大会の課題を採用しましたが、作業の難易度を考慮し、抽選パターンを減らすなどの対応をして県大会を行いました。



図2 （競技の様子）

課題としては長い電線管の曲げや切断など選手の技量、練習量が出る課題となっていました。このため15名の参加選手のうち、時間内に作業を終了さ

せることができたのは12名、誤配線がなく完成させることができた選手は9名でした。

表1 大会結果 <3位まで入賞>

順位	学校名 (学年 学科)	氏 名
1	山形工業高等学校 3年電子システム科	江口 燿平
2	山形工業高等学校 3年電気電子システム科	鈴木 将也
3	酒田光陵高等学校 3年エネルギー技術科	佐々木隆成

3. おわりに

課題の難易度は先に挙げた電線管の曲げの他、P F管による立体交差など、近年には無かった技量が問われる課題となりました。上位者については昨年と同様に差も僅かで高いレベルでの競り合いでしたが、山形工業高校が一步抜きんでおり、この後、本県で開催される東北、全国大会へ向けて結果が期待される大会となりました。

東北大会の詳細については別紙報告書を参照願います。

最後に、今年度も高齢・障害・求職者雇用支援機構山形職業訓練支援センター様には、会場と作業板をお借りし、山形県電気工事組合様から高額な材料提供をいただきました。山形県電気工事高等職業訓練校様にも材料の提供と、校長の藤田様には審査と貴重な助言をいただきました。また、今年度も東北電化工業株式会社品質管理部長の宮本様をはじめ3名の方より審査および助言をいただいただき、様々なご支援をいただきましたことを深く感謝申し上げます。

最後に大会の運営に対して多くの方々にご支援・ご協力をいただきました。重ねて感謝申し上げます。